

■米国：2018年度連邦予算、ユッカマウンテン再開費用は含まず

2018年3月23日付の報道によると、2018会計年度の包括歳出法案が成立したが、エネルギー省（DOE）および原子力規制委員会（NRC）の予算においてユッカマウンテン再開に係る予算は計上されていない。トランプ政権は、2017年5月に2018会計年度の予算教書を連邦議会へ提出し、その中で高レベル放射性廃棄物の処分場であるユッカマウンテン計画（ネバダ州）の許認可活動再開および中間貯蔵プログラムの確立に向け、DOE予算として1億2,000万ドルを要求していた。また、NRCの予算においても、ユッカマウンテン許認可審査費用として3,000万ドルが要求されていた。今回予算化が見送られた背景には、ユッカマウンテン計画に強硬に反対しているネバダ州選出のディーン・ヘラー上院議員（共和党）の影響があったとされている。